

佐藤直樹公開制作展示

「そこで生えている。20260320-20260415」

Sato Naoki Public Drawing Exhibition

“There, it has grown. 20260320-20260415”

2014年に描かれ始め、今回の公開制作によってベニヤ板404枚(370メートル幅)に達する木炭画作品《その後の「そこで生えている。」》。梅丘図書館3Fの多目的室をオープンアトリエ化することによって、「未完成であり続ける絵画」が生成される現場を開示します。近年、陶像、アクリル画、油彩画などにも拡張している「そこで生えている。」という全体像の、予測し難い増殖の様を目撃してください。



佐藤直樹(さとう・なおき)

1961年、東京都生まれ。北海道教育大学卒業後、信州大学山本哲士研究室で教育社会学・言語社会学を学ぶ。美学校菊畑茂久馬絵画教場修了。1994年、『WIRED』日本版創刊にあたりアートディレクターに就任。1998年、アジュール・デザイン(現アジュール)設立。2003-2010年、アート・デザイン・建築の複合イベント「セントラルイースト東京(CET)」をプロデュース。2010年、アートセンター「アーツ千代田 3331」の立ち上げに参画。サンフランシスコ近代美術館パーマナントコレクションほか国内外で受賞多数。2010年代より絵画制作へと重心を移し、「東京ビエンナーレ(2020/2021, 2023)」クリエイティブディレクター。3331デザインディレクター。多摩美術大学グラフィックデザイン学科教授・アートとデザインの人類学研究所所員。

2026年(令和8年)

3月20日(金)-4月15日(水)

13-18時 (作家の滞在制作時間は未定です)

場所：世田谷区立梅丘図書館3階多目的室

主催：世田谷区立梅丘図書館(問い合わせ電話：03-3323-8261)

